

## 第 9 回議会報告会 報告書

地 域 名	小佐地区		
年 月 日	平成 25 年 10 月 21 日	会 場 名	馬瀬交流センター
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 00 分
参加数	男 9 人	女 0 人	合 計 9 人
班 長	深沢 巧	司 会 者	深沢 巧
報 告 者	藤原 哲郎	書 記	藤原 敏憲
班 員 名	深沢 巧 北尾 行雄 藤原 哲郎 藤原 敏憲		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>① 火葬場、中学校の工事で補正予算を組んだ。今回また、給食センターの建設に関連する設計で大幅な補正が組まれた。当初予算が甘いのではないか。</p> <p>② 子どもの数も減っていくのに、11 億円もかける必要があるのか。</p> <p>③ 給食費の滞納があるが、甘い考えはやめて、厳しく徴収してほしい。</p> <p>④ 滞納は市民から見れば不公平。収納対策室を作って職員を配置しているが、効果は出ているのか。</p>	<p>① 火葬場、中学校は掘削したのちに問題が出た。給食センターは設計が甘かった。いずれも十分調査しておれば、防げた問題であり、議会としても厳しく指摘し、市長も反省して、今後はないようにするとの姿勢を見せた。</p> <p>② 現在の給食センターは老朽化していること、アレルギーの子どもにも十分対応する施設が必要ということで建設する。</p> <p>③ 105 万円の未収がある。</p> <p>④ 未納者について議会は判らない。個々の事について追及出来ない。問い詰めは行なっている。</p>	
意見交換会での質疑	<p>① 小佐も 13 番目に自治協議会を立ち上げたが、どこの自治協議会も、市役所の仕事を押し付けられているのではという不満を持っている。このままでは地域の振興につながらない。</p> <p>② 集落が少なく自治協議会の人材がない。市担当職員グループがあるが、指導をしてくれない。また、「計画」を作れといわれても無理だ。</p> <p style="padding-left: 20px;">自治協間の意見交換の機会があったらよい。人材不足である。事業計画を作成するのは大きな難儀である。市から職員のアドバイスが必要だ。</p>	<p>① 自治協設立は地域の活性化と振興を目指すことが目的である。自治協についてはリーダーを地域でつくる必要がある。</p> <p>② 若い人、高齢者の人たちが一体となって作り上げることが必要であり、みんなが楽しめる自治協議会を作るために努力してほしい。「計画」を短期間で作るのは難しいとの声は他の地域でも出ている。</p> <p style="padding-left: 20px;">意見交換の機会や職員との連携について意見があった事は当局に伝える。</p>	

意見交換会での質疑	<p>③ 空き家が増えており、危険な状況となっている。敷地内で倒れるならいいが、隣に影響が出る建物もある。市として対応できないか。</p> <p>④ 名草神社の改修方針が決まったが、道路整備等もっと市が積極的にやってほしい。</p>	<p>③ 各地で問題となっており、議会でもこの問題を取り上げたが、市としての方針は出ていない。</p> <p>④ 名草神社の修繕は市全体の問題だ。町の文化財を守れないことでは、市民は誇りを持ってない。</p>
その他（提言など）	<p>① 老人クラブ連合会から次々と脱退する老人クラブがある。提出書類の作成が難しい。もっと簡素化してほしい。また、男性ではリーダーがいない。女性がリーダーになったほうがいい。</p> <p>② 小佐ふれあいクラブの管理を自治協議会でしているが、災害で建物に被害が出た場合、50万円までは自治協議会で見てほしいと市役所から言われているが、交付金では無理だ。考えてほしい。</p>	<p>① 書類の作成については、市に申し入れる。</p> <p>② 管理委託、使用料支払いなど自治協と協定を結ぶ必要がある。50万については実態を確認、調査して報告する。</p>
<p>備考（今後の改善点等）</p> <p>参加者より折角集落施設で開催するのだから、身近な多くの方が参加できるよう議会の方から区長さん等に積極的に参加動員を頼むべきである、との提言を頂いた。</p>		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

平成 25 年 10 月 31 日

報告者 3班 班長 深澤 巧

